

粉末X線回折装置 (RINT 2500) 依頼測定開始のご案内

いつも全学共用機器をご利用いただきありがとうございます。2021年11月1日より粉末X線回折装置の依頼測定を開始いたします。

1. 装置概要



Rigaku RINT 2500

設備管理者: 市川貴之先生、宮岡裕樹先生
機器共用担当職員: 河田尚美

料金	相互利用	依頼測定
	学内	-
学外	-	-

2θ : 5~70° (構造上高角度側は影になり測定ができません)

線源: CuK α (回転対陰極)

検出器: 高速1次元半導体検出器D/teX Ultra

2. 申し込み方法

①初回利用時、ご相談はスタッフまでお問い合わせください。

自然科学研究支援開発センター 河田

内線: 2483

メール: kawata @iroshima-u.ac.jp

②打ち合わせをさせていただきます。(メール、電話、オンライン通話、対面等)

③大学連携研究設備NWより依頼測定の入力をしてください。(事前にアカウント登録が必要です。)

大学連携研究設備NW <http://chem-eqnet.ims.ac.jp/>

予約機器名: 構造特性評価用X線解析装置(リガク・RINT2500)

・1試料1予約として入力をお願いいたします。(システム上は複数試料入力ができますが1試料としてください)

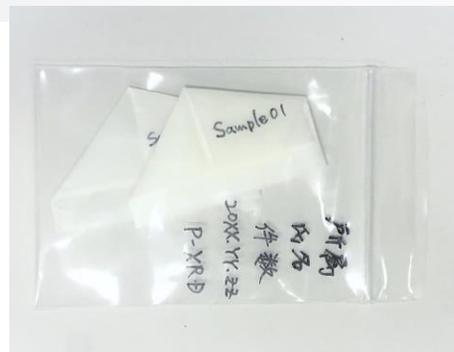
・システム上の希望測定日は一ヶ月先の日を入力してください。結果を急がれている場合も、②の打ち合わせでお伝えいただけなかった場合は、調整いたしかねます。

④試料と申込書を機器分析J棟の窓口(平日9:00~12:00, 13:00~16:30)へ提出してください。

申込書 <http://www.kiki.hiroshima-u.ac.jp/kiki/shorui.shtml>

3. 試料準備

- ・試料量の目安は、**結晶粉末 0.5g**程度
 - ・**20 μ m**程度に粉砕し薬包紙に包む
 - ・薬包紙に**試料名**(半角英数)
 - ・薬包紙をビニール袋(ユニパック等)に入れる
 - ・ビニール袋に**所属、氏名、試料数、申込日、P-XRD**を明記
 - ・バルク試料は条件が整った場合のみ対応で要相談
- 有害な試料は測定をお断りしております。ご了承ください。



4. 解析

データは生データの状態でお渡します。依頼測定には解析は含まれませんのでご自身で解析をお願いいたします。解析ソフトをお持ちでない方は、スタッフにお声かけいただき、解析ソフトJADE S/M(複数メーカーのデータに対応、日英中表示可)とデータベース(PDF-2)をご利用ください(学内者限定)。ご希望がありましたら遠隔地からの解析にも対応いたします。他装置の測定データを解析されたい場合に、解析ソフトだけでも無料でご利用いただけますが、当センター利用者の希望と重なった場合には、センター利用者を優先させていただきます。まずはスタッフまでお問い合わせください。

上記の利用に関するご案内は状況に応じて変更する可能性があります。HP上の最新情報をご確認ください。